

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 2 ー 10

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	地域間交流推進事業							
評価者	担当課名		財務企画課		担当係名			
	管理職	職名	課長		作成者	職名		
		氏名	原 正美			氏名	澤田朋朗	
事業の概要	これまでの町の歩みの中で育んできた佐賀県武雄市・栃木県益子町・札幌雄武会・東京雄武会との交流を継続、発展させていくものであり、「ふる郷ふれあい交流会」の開催、相互訪問による人的・経済交流を実施している					全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度)		
						事業費	国・道支出金	千円
						地方債	千円	
						その他	1,500 千円	
						一般財源	2,650 千円	
					事業費計	4,150 千円		
実施方法	■ 直 営		民間委託		その他 ()			
第 5 期 総 合 計 画 (前期)			■ 登載事業		非登載事業			
事業の位置付け	政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進					
	基本施策	23	多様な交流の促進					
	単位施策	2	地域間交流の促進					
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務				
	その他計画・根拠等							
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)		
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円		
	その他財源	301 千円	318 千円	300 千円	300 千円	300 千円		
	雄武町負担額 (一般財源)	481 千円	485 千円	636 千円	530 千円	530 千円		
	合 計	782 千円	803 千円	936 千円	830 千円	830 千円		

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	行政主導のもと実施しており、民間主導の交流が進んでいない	既存の交流団体との交流継続			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	行政主導によらず、民間主導の交流に発展させる	① 交流団体数 ／武雄市・益子町・札幌雄武会・東京雄武会	指標(指標計算式／解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	平成21年度	
			目標値	4 団体	
			実績値	4 団体	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	既存地域・団体との交流の拡大・さらなる活性化が図られる	②	達成度	100.0 %	
			目標年度		
			目標値		
			実績値		
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
ふる郷ふれあい交流会の開催	ホテル日の出岬を会場に、佐賀県武雄市・札幌雄武会・東京雄武会の方々と町民が一堂に会し交流を図った				
武雄市との交流事業	佐賀県武雄市物産まつりに参加、参加した町民に対し旅費相当分の助成支援を行った				

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

概ね必要 必要／概ね必要／課題あり	☐ 義務的なもの	既存地域・団体との交流は、長い歴史の中で育まれてきた経緯があり、行政が関与してさらに発展させることも必要であるが、民間主導にシフトしていく必要がある
	☐ 全部 ☐ 一部	

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

概ね有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況	計画どおりの事業展開となっているが、民間主導にシフトしていく必要がある
	☒ 達成 ☐ ほぼ達成 ☐ 下回る	

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由	ふる郷ふれあい交流会については、参加者からの会費を徴しており、効率的な進行に努めている。武雄市との交流についても、町民1人分の旅費相当分の助成支援にとどめており、可能な限りコスト削減に努めている
	☒ 事業費抑制 ☐ 人員削減 ☐ 時間短縮・作業軽減 ☒ その他	

(4) 事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由	ふる郷ふれあい交流会への参加については、広く町民向けに周知しており、参加者から会費を徴しているため概ね公平と判断する
	☒ 受益者負担がある ☐ 受益者負担がない ☐ 受益が一部に偏る ☐ その他	

4 総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等

B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等

C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等

D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
計画どおりの事業展開となっているものの、地域に根ざした地域間交流を民間主導で行うに至るまでは、行政主導で実施する必要がある		

 今後の展開方向 (Action)   		
継続／現状維持		
計画どおりの事業展開となっているものの、地域に根ざした地域間交流を民間主導で行うに至るまでは、行政主導で継続実施する必要がある		

*展開方向の区分

○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--